

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	家庭・フードデザイン（普）	単位数	2	担当者	大月
---	----	-------	---------------	-----	---	-----	----

1、教科書・副教材

フードデザイン（実教出版） フードデザイン学習ノート（実教出版）

2、科目の目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を総合的に習得する。 自立した生活をするための食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。

3、学習の計画

	月	学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	・食生活と健康 ・健康に必要な栄養素 ・調理の基本 ・道具の扱い	食事の意義と役割 食を取り巻く現状 栄養素の働きと消化吸収の仕組みを理解する調理実習・実験 調理理論	35	中間考查
	5月				
	6月				
	7月				
	8月				
後期	9月	・食品の選択と調理 ・食品の成分と変化 ・食品の加工 ・郷土食と行事食 ・料理様式 ・まとめ	食品の特徴と性質を理解する 食事計画について理解する 社会人講師による授業 調理実習・実験 調理理論 教材視聴 料理様式と献立、食文化を理解する調理実習・実験 調理理論	35	中間考查 期末考查
	10月				
	11月				
	12月				
	1月				
2月					
3月					

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
定期考查・提出物（作品、レポート、宿題など）・実習を含めた授業への取り組みを、総合的に判断する。	①関心・意欲・態度	食生活全般について高い関心を持ち、自ら行動できる意欲や姿勢があるか
	②思考・判断・表現	食生活に関する課題を見つけて、解決に向けて考え、表現することができるか。
	③技能	食に関わる基礎基本の技術に加え、それ以上の技術が身についているか
	④知識・理解	食生活に関する幅広い知識を習得することができているか

5、学習にあたっての注意とアドバイス

(1) 教科書、プリントを主として学習を進める。実習実験の際には身だしなみを整えて安全面、衛生面に気をつけて取り組む。 (2) プリントや資料はファイルに整理して各自管理する。 (3) 実習への取り組みや出来栄からも学習内容の定着を評価する。

R5 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	家庭・服飾文化（普・森・イ）	単位数	2	担当者	大月
---	----	-------	----------------	-----	---	-----	----

1、教科書・副教材

服飾文化（文部科学省）

2、科目の目標

家庭基礎・家庭総合で学んだ内容をもとに、服飾の変遷と文化、着装などに関する知識と技術を習得するとともに、服飾文化の伝承と創造に役立てる能力と態度を身につける。

3、学習の計画

	学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲			
前 期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾文化を学ぶにあたり ・ミシンの使い方 	35	作品提出			
	5月						
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の服飾と暮らしの背景 			<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標や内容、方法を理解する。 ・ミシンの基本的な使い方に加え、用具や糸等に関する学習する。 		
	7月						
	8月						
9月							
後 期	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の服飾と暮らしの背景 	35	作品提出			
	11月						
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の服飾と暮らしの背景 			<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の服飾と生活との関わりや伝統工芸を学ぶ。 ・作品制作を通して服飾の文化を学ぶ。 		
	1月						
	2月					<ul style="list-style-type: none"> ・服飾文化の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の服飾や伝統工芸から暮らしとのつながりを通じた文化を学ぶ。
	3月						
		<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の環境への影響を知り、新たな服飾文化の創造について考える。 ・これまでの学習と関わらせて課題を設定し取り組む。 					

4、評価の方法・観点

評価方法	評価の観点	
定期テスト、授業プリントや作品などの提出物、および授業態度（出欠、授業や実習への取り組み）を総合的に判断する。	①関心・意欲・態度	服飾文化に興味関心を持ち、授業に意欲的に取り組んでいるか
	②思考・判断・表現	衣生活を見直し、課題を解決するために思考を深め、それを表現することができたか
	③技能	製作や着装に必要な技術を身につけているか
	④知識・理解	服飾に関する基礎的基本的な知識を身につけているか。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- (1) 道具や材料の取り扱いに注意して、安全に留意しましょう。
 - (2) 授業で配布されるプリントはファイルに整理して保管しておくこと。
 - (3) 作品の出来栄とともに、提出状況と制作に対する意欲や態度、創意工夫を重視します。
 - (4) 内容は、進度や教材の状態により変更する場合があります。